

令和5年6月22日

令和5年6月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年6月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年6月22日、令和5年6月羽島市教育委員会定例会を羽島市役所本庁舎3階302会議室において開いた。

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について  
日程第2 報第13号 羽島市教育委員会の後援等承認の報告について  
日程第3 承第3号 臨時代理の報告並びにその承認について（羽島市議会提出議案（令和5年度羽島市一般会計補正予算（第3号））に同意することについて）  
日程第4 ※報第12号 令和5年度準要保護児童生徒の不認定の報告について  
日程第5 その他  
1 各課の事業進捗状況  
（※印は秘密会で開催）

本日の会議に付した議事  
議事日程に同じ

出席者

教育長（議長） 森 嘉 長  
教育委員 黒 田 淳  
教育委員 今 枝 甫  
教育委員 春 日 民 奈（日程第5より出席）  
教育委員 今井田 裕 子

説明のため出席した職員の職氏名

事務局長 今井田 明 弘  
事務局次長兼教育政策課長 小 川 隆 正  
学校教育課長  
兼教育支援センター長 高 橋 浩 之  
西部幼稚園長 安 藤 賢 治  
南部学校給食センター主幹 亀 山 佳 枝  
生涯学習課長 岩 田 睦 巳  
図書館長 番 重 宗  
スポーツ推進課長 柴 田 泰 宏

午後1時25分開議

日 程	発言者	発 言 の 要 旨
教育長挨拶	教育長	・ 6月17日（土）に、私の主張2023羽島大会が開催され、5つの中学校及び義務教育学校より10名の生徒の参加があった。昨年度は、自分のことを告白するような主張が多かったが、今年度は地域社会の中で調べた関心事

		<p>や、著名な人物や作品からの引用についての主張が多かった印象である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>羽島市議会6月定例会において、5名の議員より質問があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(インシュリン注射の質問について) <p>学校における1型糖尿病への対応(インシュリン注射が必要な子への看護師の配置)について、現在はほとんど皆、自己注射できる状況にあるが、今後依頼があった際の対応を検討すると答弁した。</p> </li> <li>(働き方改革のPRの提案について) <p>教員の時間外勤務の縮減率、特に昨年度より始まった竹鼻中学校の部活動の地域移行により、時間外勤務が1人あたり13時間減ったデータ等をもとに、羽島市の働きやすさをアピールしてはどうかと提案があった。教育委員会でも検討すると答弁した。</p> </li> </ul> </li> </ul>
開 会	議長	<p>出席委員が定足数に達していることから令和5年6月羽島市教育委員会定例会の開会を宣言する。</p> <p>報第12号について秘密会としたい旨述べ、委員の発言を求める。(各委員から異議なしの声あり。)</p> <p>異議がないので、報第12号を秘密会とすることが承認された旨述べる。</p>
日程第1	議長	<p>本日の会議録署名委員に今枝委員を指名する。</p>
日程第2	議長	<p>報第13号を議題とする旨述べ、説明を求める。</p>
	【説明】	<p>以下の後援事業の申請者、目的、事業開催内容等を説明する。</p> <p>【教育政策課長】  (第25回連盟杯卓球大会、夏打DON!!2023 by美濃の国羽島太鼓、みんなで折ろう!折り紙教室、生涯学習セミナー“幸せの感度を高めよう!”)</p> <p>【学校教育課長】  (第50回羽島市文芸祭、「わたしの主張2023」羽島市大会、伝統文化羽島こども囲碁教室、児童青少年演劇全国縦断公演～コロナ禍の子どもたちに演劇鑑賞体験の回復と拡充を～、2023年度 絵で伝えよう「わたしの町のたからもの」、科学実験体験会・プログラミング体験会、MOA美術館 羽島児童作品展、食と観光を探る!羽島市子ども記者団、ロボット製作・無料体験会)</p>
	議長	<p>委員の発言を求める。(各委員から発言なし。)</p> <p>発言がないので日程第2 報第13号の報告を終える旨述べる。</p>
日程第3	議長	<p>承第3号を議題とする旨述べ、説明を求める。</p>
	【説明】	<p>【教育政策課長】  6月8日に開催された羽島市議会において提出された</p>

		予算に関し、6月7日に議会提出に先立ち臨時代理を行ったため報告し、承認を求めるものである。
	議長	委員の発言を求める。 異議がないので日程第3 承第3号は承認された旨述べる。
日程第4	議長	報第12号を議題とし、秘密会で行う旨述べる。(日程第4は秘密会)
日程第5	議長	秘密会を解く。 各課の事業進捗状況の説明を求める。
	【説明】	<p><b>【教育政策課長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 羽島市教育委員会点検評価委員会を、7月24日(月)に開催予定である。点検評価を受けた後、8月の定例教育委員会にて諮り、9月に議会報告、その後に公表という形で進める予定である。</li> <li>・ 第4回新しい時代の学校構想検討委員会を8月28日(月)午後に開催予定である。</li> </ul> <p><b>【学校教育課長】</b></p> <p>(1) いじめの状況について 令和5年5月19日から6月19日までの間に報告があった事案は、児童8件、生徒2件の合計10件である。</p> <p>(2) 不登校の状況について 5月は、小学校・前期課程30名、中学校・後期課程78名の計108名である。小学校高学年の5・6年生、中学校2年生、義務教育学校の8年生の割合が多くなっており、4月を機に出席しようとしても継続できず、そのまま出席できなくなるというケースが増加傾向にある。 30日以上欠席者19名中、10名が適応指導教室こだま・のぞみへの参加を希望しており、子どもたちの状態に合わせ、適応指導教室での支援を提供してゆく。</p> <p>(3) 交通事故・学校事故の状況について 交通事故については、3件の報告がありました。緊急搬送はなく、擦過傷・打撲であったが、ヘルメットを着用していなかった案件があった。先日の校長会で注意喚起を依頼し、ヘルメット着用の徹底を図る。 学校事故については4件報告があり、いずれも骨折・ひびであった。</p> <p>(4) 新型コロナ・インフルエンザについて コロナにより、桑原学園の1学級を学級閉鎖とした。</p>
	議長	委員の発言を求める。(委員から次の通り発言、確認あり。適宜職員等が次の通り説明し、了解を得る。) <b>【今枝委員】</b>

(1) 不登校について、中学校で増加しているとのことだが、理由はあるのか。特に3年生は進路にも影響が出かねないので心配してしまう。

(事務局)

- ・ 3年生になると受験もあり、自分の進路にも関わるため、出席する子も増えてくる。2年生が増加傾向だが、コロナの影響でいろいろな経験をせずに3年間過ごしてきたことが若干、関係しているのではないかという印象がある。

(2) 私が教員の時は、荒れている学年というものがあつたが、不登校もこの学年に見られる特徴的なことなのか。それとも、たまたま増えているのか。

(事務局)

- ・ まず、この学年がというわけではなく、小学校の際は不登校といかないまでも、教室になかなか入れず、校内の相談室や保健室へ行っていた子どもたちについて、その子どもたちが中学校に上がると、全く学校に行けなくなるということはあるように感じる。

また、羽島市だけがというわけではなく、一般的に言われていることとして、今の中学1・2年生は、リーダー的な立場として様々な活動ができる小学校高学年の際に、コロナ禍で中止や制限があつたため、コミュニケーションや人間関係の認知について若干経験が足りないところがあるのではないか、というものがある。

そのためコロナ以前の子どもたちと同じ経験値を前提としたものを求めてしまうと、人間関係でつまずいたり、教室に入りづらくなってしまふ等する子どもが増えてしまふといった傾向はあると思う。

**【今井田委員】**

- ・ 前回の教育委員会定例会でも「LINE」の話が出たが、動画を撮影して「YouTube」にアップロードしたということが、いじめと判断されたと新聞にあつた。これは被害者の意思に反して公開した点、さらに一度公開されたら取り返しがつかないという点を重視したものと思われる。

デジタルタトゥーとして子どもに数十年に渡つて影響を与えかねないため、学校だけではなく保護者からも指導をしてもらえよう対応をお願いしたい。

(事務局)

- ・ まだ案の段階だが、教育委員会、学校、お願いできればPTAの連名で、保護者の方へ、対応について依頼文書を出そうと考えている。学校外や

家庭内で起きたことについては家庭で指導していただくことを大前提とし、YouTubeや動画撮影等については、速やかに警察に相談していただくようお願いする予定である。

**【説明】**

**【西部幼稚園長】**

- ・ 梅雨が本格的で、プール遊びや水遊びが思い切つてできない状況であるが、子どもたちは元気に遊んでいる。

**【南部学校給食センター主幹】**

特になし。

**【生涯学習課長】**

- (1) わたしの主張2023（6月17日）

優秀賞の2名については、県大会出場の選考委員会に推薦をする。

- (2) 放課後子ども教室

福寿小、中島小、堀津小、桑原学園で始まった。地域の方とともに、子どもたちへ、地域の良さ・羽島の良さを伝えていけるような時間にしたい

- (3) 不二竹鼻町屋ギャラリーについて

収蔵品展が終了し、417名が来館した。

7月22日より、羽島こども美術館を開催する。

- (4) 歴史民俗資料館について

歴史民俗資料館審議会（6月15日開催）

本郷村庄屋花村家所蔵品展（7月1日より開催）

- (5) 全国高等学校文化祭の続報として、不二羽島文化センターにおいて、演劇と吹奏楽の発表を予定している。

- (6) 岐阜県美術展において、正木小学校5年生の児童が、最優秀賞を受賞された。

**【図書館長】**

- (1) 電子図書館の学校利用について

各学校での説明会を終え、現在、各学校で電子図書館が利用可能な状況となっている。

- (2) イベント開催（7月22日予定）

「キッチンカーイベントinコスモパーク羽島」と共催で、図書館にて、TVアニメの上映会と折り紙教室の開催を予定している。

**【スポーツ推進課長】**

- (1) チャレンジデー2023（5月31日）

羽島市が勝利したが、参加率は68.8%、大館市が62.2%であった。なお、このイベントは主催団体の意向により、今年度で最後となる。

- (2) バスケットボール教室（6月24日予定）

羽島市トップアスリート育成支援事業の一環として、正木小学校体育館にて、市内の小学生を対象にバスケッ

トボール教室を行う。バスケットボール教室では、岐阜県唯一のプロバスケットボールチーム「岐阜スーパース」の選手や講師の方の指導のもと、72名が参加予定である。

**【事務局長】**

- ・ 特になし

**【教育長】**

- ・ 休日の文化部活動の地域移行について  
いずれ教育委員会に諮ると思われるので、進捗を報告する。

羽島市新しい時代の学校構想検討委員会で2回にわたって検討がされ、生徒・保護者にもアンケートを行ったところ、休日に文化活動を部活動の延長線上で行うことに大変肯定的な意見が多かった。保護者からは、一定の金銭の負担があっても、相応の指導が受けられれば良いというご意見が多数あった。

検討委員会の委員からは、次のような意見があった。

- ・ 子どもたちがこれから減少してくる状況を踏まえると、10年後・20年後に、子どもが減っても耐えられる制度設計が必要になる。
- ・ 文化部活動の地域移行についても、スケジュール感を持ってできるところから始め、やりながら制度を見直していく方法がよい。
- ・ 運動部活動で行っているように、指導者と責任者（指導と運営）を分けるため、学校外に、文化部活動を運営できるような団体（NPO法人）を立ち上げる方法もある。
- ・ 移行の際は、移行する部活動のモデルを一つまたは二つ作り、子どもたちからの需要の高いものから移行してはどうか。
- ・ 学校によって存在する文化部活動が異なるため、地域移行では校区を越えて、多様な経験ができると良い。
- ・ 令和6年度に全国高等学校総合文化祭・国民文化祭が開催され、子ども達が文化活動に触れる機会があるので、これを機に地域における文化活動に関心を持ってもらい、3年間かけて移行してはどうか。
- ・ 経済的に苦しい家庭の負担とならないよう、市からの補助金や、場合によっては企業からの寄付金等、今後どのようにこの財源を確保していくかを検討する必要がある。

議長

委員の発言を求める。（委員から次の通り発言、確認あり。適宜職員等が次の通り説明し、了解を得る。）

		<p><b>【今枝委員】</b></p> <p>(1) 検討委員会を参観し、委員の方とも意見交換をしたが、「中学校の部活動における目標とは何か、何を指すのか」ということが、共通理解となっていないように感じる。</p> <p>部活はあくまで任意であり、入賞を目指してチャレンジすること、音楽に親しんでもらうため楽しさを重視すること等、様々な考え方がある中で、あくまで公教育としての学校部活動の目標ラインはどこか、という認識を共通化しなければ、うまく進まないのではないかと思う。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の部活は、先生のリーダーシップのもとに行われており、子どもたちの主体性が育まれ辛いように感じる。</li> </ul> <p>休日の運動部活動は既に地域移行しているが、平日の学校での部活動をやっても、土日のクラブに入っていない子もいる。竹鼻中では、土日は違うスポーツをやっている等が理由で、50人程の生徒が土日のクラブには入っていない。平日と休日のあり方も含め、部活動改革について検討していきたい。</p> <p>(2) 現在、教員特別給与措置法の調整額について、10%に引き上げることが検討されている。</p> <p>私が調べたところ、10%の根拠は月に20時間程度の時間外勤務手当を想定しているとのことであるが、国の動きも視野に入れながら、羽島市の教員の働き方改革のあり方として、働きやすい環境の中で時間を確保することで、時間外勤務を現在の月40時間からさらに減少するとともに、子ども達への充実した教育の提供がされればと思う。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方改革プランを策定するに際し、非常に貴重なご意見をいただき感謝する。</li> </ul> <p>さらなる委員の発言を求める。 発言がなかったため、事業の進捗の報告を終える。</p>
閉会	議長	以上で本日の議事日程は全て終了したので、令和5年6月羽島市教育委員会定例会の閉会を宣言する。

午後3時30分 閉会

上記会議の大要を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年6月22日



教育長 森 嘉 長

---

委 員 今 枝 甫

---